

SPIRAL REPORT

スパイラルレポート



未来の環境を考え、 ともに育てる…

CONTENTS

P. 3	環境編
P. 11	食品編
P. 15	組合員活動編
P. 19	理念・運営体制編
P. 23	職場づくり編
P. 25	コープしがの事業編

協同組合の役割を自覚し、
地域社会に貢献し続けます。



日頃より、コープしがの事業と活動を支えていただき誠にありがとうございます。

2013年は、コープしが20周年という節目の年でした。滋賀県の生協運動の結集をめざして、組合員の参加と生産者とのつながり、経営資源の結集、地域の共同・連帯を掲げて、4つの生協が合併して20年が経過しました。高い志を掲げ合併を決意し、コープしを作り上げた先人の皆様、それを支え続けてきたお取引先そして組合員の皆様に感謝申し上げます。

2014年がスタートしました。消費税増税による暮らしへの影響は大きく、食を中心に県民の暮らしを支え続けられるかどうか試される年になります。

単身世帯が増え、孤独・孤立が広がる中、人と人が支えあう協同組合の価値は、ますます重要になっています。常に原点を振り返り、事業と活動を通して、滋賀の地で協同組合組織をしっかり前進させ、組合員の想いや願いに答え続けることが使命だと思っています。そのために、暮らしの中から生まれた商品とその価値をしっかり伝えること、一人ひとりの組合員をよく見て、その方の暮らしにあった提案をすること、苦情や意見を真摯に受け止め、改善につなげる努力をし続けること、最後は、事業や活動を通して、感謝され笑顔を広げること。そこに存在価値を見だし、協同組合の輪を広げていきます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

2014年6月

生活協同組合コープしが
理事長 西山 実

TPICS

トピックス

「コープの森づくり」

コープの森づくりとは

①滋賀県の森林の役割

滋賀県の面積に占める森林の面積は2分の1になっています。これらの森林は琵琶湖の水源、温暖化防止など多様な役割を担っています。しかし、森林を中心とする社会システムが崩壊し、多くの森林が手入れ不足となり、森林の多様な役割が果たせなくなりつつあります。

②コープしがの役割

コープしがは森林所有者とパートナー協定を結び、森林整備を資金面で支援します。手入れ不足に陥った森林を、計画的な整備によって健康な状態に戻します。さらに、ボランティア活動や森林の学習会を通して、森林所有者や地元との交流を深めます。

コープの森あぶらひ開設

2013年度は、コープの森第2号として甲賀市に「コープ森あぶらひ」を開設しました。森林所有者である油日・上野共有生産森林組合とパートナー協定を締結し、銘木「甲賀ヒノキ」の美林の維持に取り組んでいきます。



コープの森 あぶらひ協定書調印式 (10/29)



コープの森 あぶらひの除幕式 (11/30)

森林整備ボランティア・森林学習会

秋にコープの森余呉で森林整備ボランティアに取り組みました。悪天候のため9月の1回だけの開催になりましたが、38名の役職員が急斜面の作業で汗を流しました。嘉田知事もゲスト参加され、杉の木の伐採に奮闘されていました。



コープの森 余呉のボランティア活動



余呉の現地学習会



第1回森林整備ボランティア（コープの森 余呉 9/28）

資料

「コープの森余呉」と「コープの森あぶらひ」の概要

コープの森 余呉

所在地	長浜市余呉町中之郷
森林所有者	中之郷生産森林組合
協定締結日	2012年8月29日
協定面積	72.4ha
協定期間	7年間
森林づくり費用総額	700万円
ボランティア活動	2012/10/20 54名 2013/9/28 38名

説明

余呉町中之郷地区では、古くから薪炭の生産が行われてきました。最盛期には北陸線の停車場があり、ここから薪炭を全国に出荷していました。しかし、化石燃料への転換が進み、やがて薪炭の生産は完全に終了してしまいました。余呉の森は、ナラやコナラなどの自然林と戦後に植えられた杉の人工林が混在しています。森林づくりの計画では、整備林道を敷設し、人工林と自然林の間伐などの整備を進める予定になっています。

コープの森 あぶらひ

所在地	甲賀市甲賀町油日
森林所有者	油日・上野共有生産森林組合
協定締結日	2013年10月29日
協定面積	118.7ha
協定期間	10年間
森林づくり費用総額	1000万円

説明

古代から、甲賀地域は東大寺などの建築材料の供給地（杣：そま）でした。近代は、銘木「甲賀ヒノキ」の産地として有名で、美しい桧の人工林が広がっています。国産材の販売不振により、林業は衰退しましたが、今なお、桧の美林を維持する活動が続けられています。森林づくりの計画では、間伐と枝打ち、さらに桧の植林や獣害対策も実施していく予定です。生産森林組合が独自に行っている整備活動も支援していきます。

2013年度環境の活動

● エネルギー資源の効率使用

電気使用量

無店舗センターの冷凍庫機能を物流センターに一元化し、冷凍庫の運転を停止しました。さらに、ミニコプの閉店により、使用量は前年から 22.7% 減になりました。

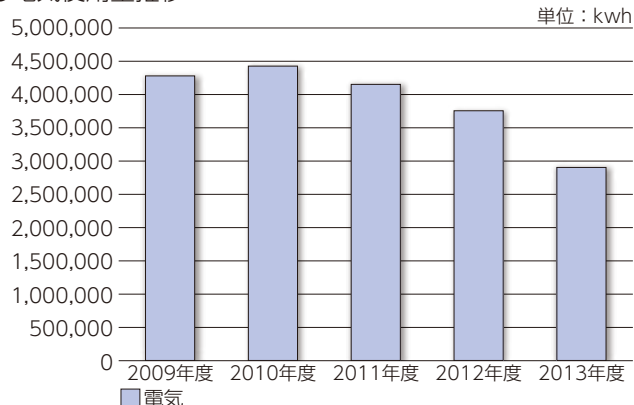
自動車燃料使用量

エコドライブによる燃費の改善に取り組みましたが、車両全体の走行距離が増えたため、軽油の使用量は前年より 2.7% 増になりました。

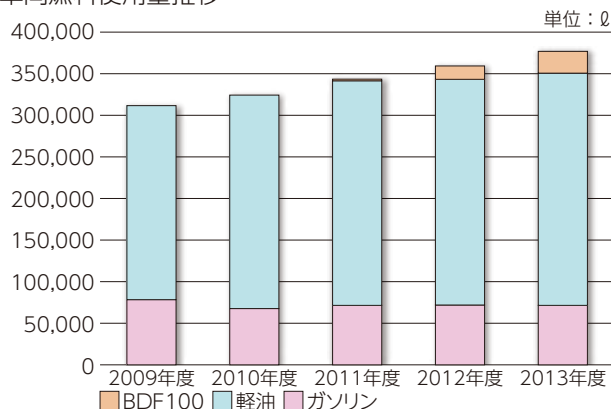
BDF の拡大中止

多くの生協から、新型車両での BDF 使用に起因するエンジントラブルが報告されており、BDF 使用車両を増やす取組は停止しました。BDF に替わるバイオ軽油の調査を開始しました。

● 電気使用量推移



● 車両燃料使用量推移



コープしが環境方針

理念

コープしがは、「自立した市民の協力の力で、人間らしい暮らしを創造し、持続可能な社会を実現する」という 21 世紀の生協の理念に基づいて、環境問題を生協運動の根源的な課題として位置付け、率先して取り組みを進めます。さらに、琵琶湖を擁する滋賀の生協として、「近畿の水がめ」「大切な水源」を守るため、琵琶湖を保全する活動に積極的に取り組みます。



方針

1. 環境に関連する法規制、及び組織が同意するその他の要求事項を遵守します。
2. 事業活動を通じて、環境に配慮した商品の提供、エネルギー資源の効率的使用と温室効果ガスの削減、環境に配慮した事務用品の使用、廃棄物の削減・リサイクルに取り組みます。
3. 県内の森林整備に貢献するため、コープの森づくりを推進します。また、滋賀県の豊かな自然を保全するための環境活動を推進します。
4. 「環境政策」の実現に向けた環境目的・目標を定め、目標達成のための施策を明確にして実践します。なお、この環境方針と目的・目標は年一回見直します。
5. 全役職員がコープしがの環境に対する理念や政策を認識し、環境方針に沿った行動を实践するよう、教育を徹底します。

環境マネジメントシステムの継続的改善

1. 事業活動に伴う環境負荷の低減と自然環境の保全に有効な諸活動を推進できる環境マネジメントシステムを構築し、システムの見直しと改善を計画的、組織的、継続的に行いシステムの完成度を高めます。
2. 環境マネジメントシステム適用の範囲外である子会社、関連会社、コープきんき事業連合、業務委託会社などとの連携を強め、環境マネジメントシステムの有効性をさらに高めます。

この環境方針は内外に公開するとともに、環境活動の取り組み状況を定期的に公表します。

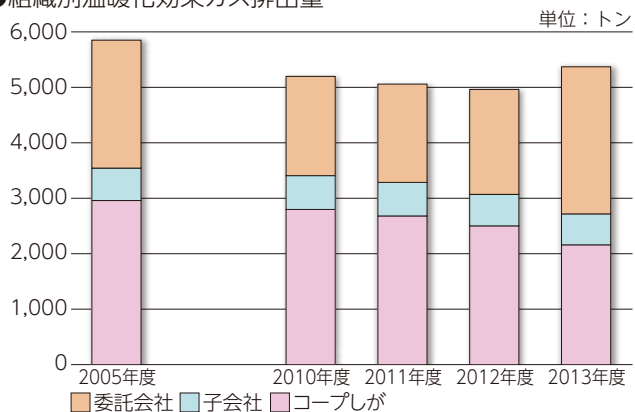
2013 年 3 月 23 日
生活協同組合コープしが
理事長 西山 実



● 温暖化効果ガスの排出

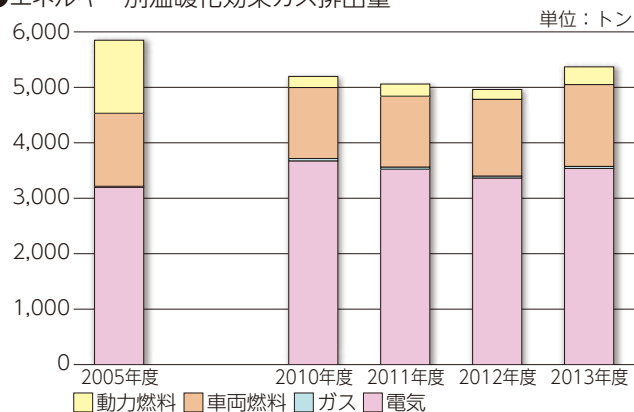
環境政策では、2005 年に排出した温暖化効果ガスを 2020 年には 20% 減することを目標としています。コープしがの事業に関わる温暖化効果ガスが対象になっており、コープしが、子会社、さらに物流センターや個配の委託分も含まれています。

●組織別温暖化効果ガス排出量



今年は、コープしが本体では前年から 13.6% 排出量が減少しましたが、コープしがの機能を移転した物流センターではエネルギー使用が大きく増えてしまいました。その結果、事業全体での排出量は前年から 8.1% 増加し、2005 年比では 91.7% になりました。

●エネルギー別温暖化効果ガス排出量



● 再生可能エネルギーの活用

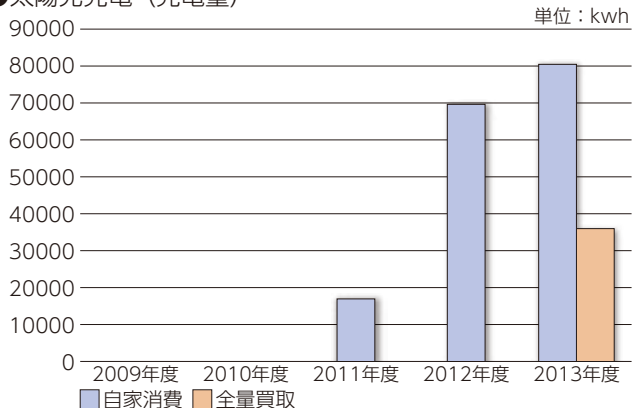
自家消費目的の太陽光発電

2011 年から 6 施設の屋根に 10kw ~ 20kw の太陽光発電を設置してきました。発電した電力は、全て自家消費しています。

10kw: 中央大津 C、南草津 C、草津 C、甲南 C、彦根 C

20kw: 野洲本部

●太陽光発電（発電量）



売電目的の太陽光発電

今年から 3 事業所で固定価格買取制度（FIT）による太陽光発電事業を開始しました。何れも 100kw 規模の発電システムで、発電した電力は全て電気事業者に販売しています。

設置事業所	メーカー	発電容量	稼働日
南草津センター	京セラ製	108.4kw	2014年 3月
北大津センター	パナソニック製	99.8kw	2014年 2月
草津センター	シャープ製	118.6kw	2013年 11月



南草津センター



北大津センター



草津センター

● 廃棄物

一般廃棄物

ミニコープの閉店により排出量が下がることを期待していましたが、コープぜぜでインスタ加工を増やしたこともあり、前年実績を12.3%上回りました。

産業廃棄物

プラスチック類を中心に有価物化に取り組んできましたが、今年に入り、材質ごとに分別できない緩衝材などが増え、産業廃棄物全体での排出量は前年から15.2%増となりました。

食品廃棄物

農産物の箱詰めや小分けを産地加工から青果産直センター加工に変更したため、商品化できない農産物の排出が増えました。食品廃棄物は、飼料の原料に加工（委託）し、再生率は99%になっています。

● リサイクルの取り組み

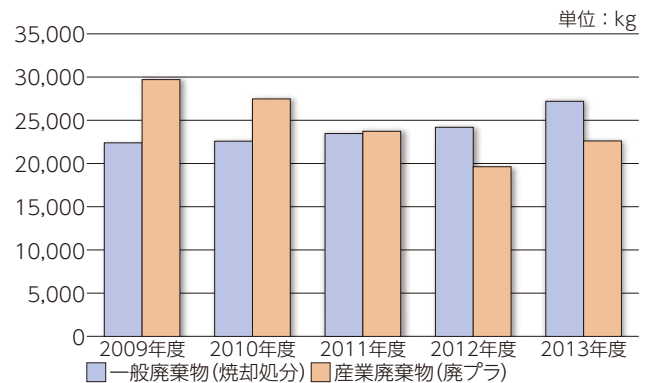
リサイクル品の回収実績

リサイクル品の回収拠点となっていたミニコープの閉店によって、主要なリサイクル品の回収実績は前年を下回りました。回収拠点の整備や組合員への告知の強化などを図ってリサイクル活動を再構築します。

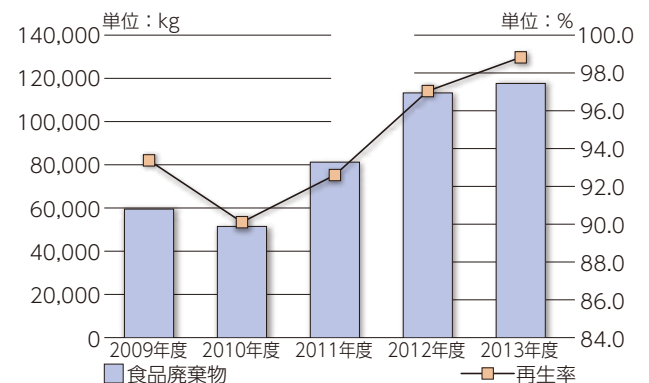
内掛け袋

内掛け袋の回収実績は、前年から3.9%減少しました。家庭内で、内掛け袋をゴミ袋代わりに使用されている方が増えているようです。

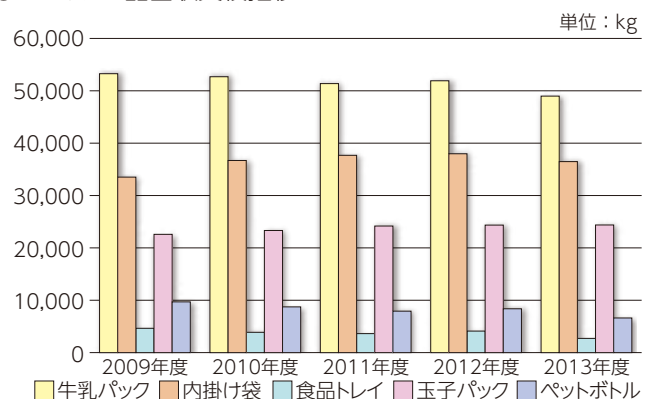
● 廃棄物排出量推移



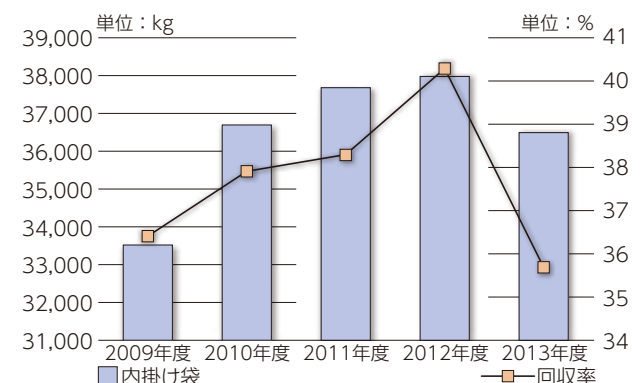
● 食品廃棄物排出量・再生率推移



● リサイクル品回収実績推移



● 内掛け袋回収量・回収率推移

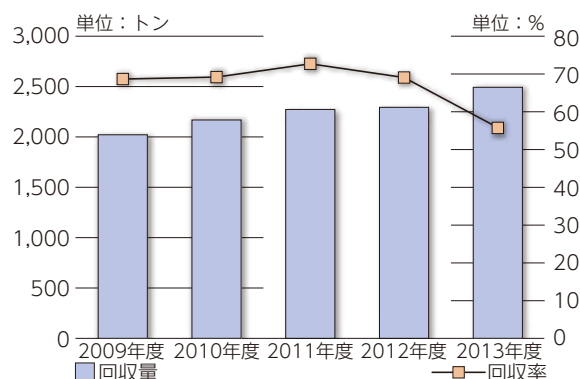




商品案内書等

回収量は、前年から 8.5% 増加しました。無店舗事業では、年間に 4,000 トン以上の紙類を組合員に配布していますが、その内のおよそ半分は回収できていると推定しています。

●商品案内書等回収量と回収率

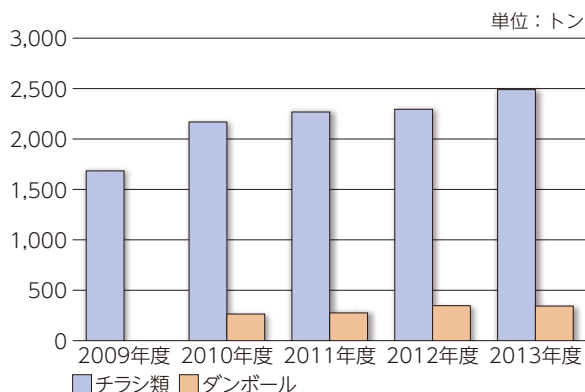


リサイクル事業

古紙販売量

チラシ類として販売しているのは、回収した商品案内書に加え廃棄する事務用紙等で、前年から 8.5% 増加しました。ダンボールは、前年実績を 1.2% 下回りました。

●古紙販売量推移



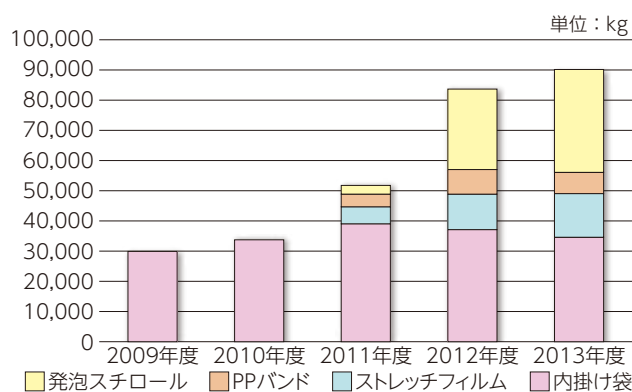
リサイクル事業収益推移

収益の柱であるチラシ類の販売量の増加、また高額な発泡スチロールの販売量も増えたため、総収益は 13.3% 伸長し、約 4,170 万円になりました。

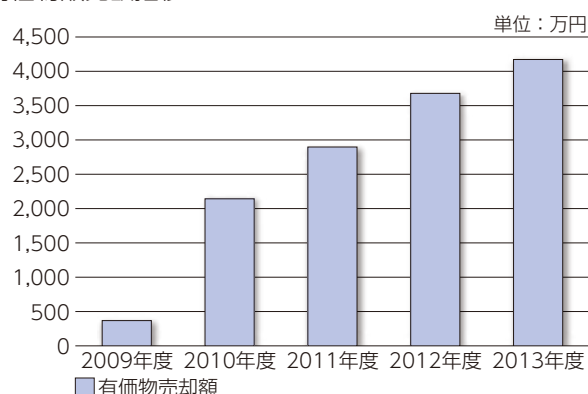
廃プラスチック販売量

配達用シッパーの切替によって廃棄シッパーが大量に発生し、発泡スチロールは前年から 27.5% 増えました。一方、内掛け袋等の透明ポリエチレンは、リサイクルとしての回収も減少し、販売量も減少しました。有価物として販売するプラスチック廃棄物は、全てリサイクルセンターの圧縮機で減容加工しています。

●廃プラ有価物販売量推移



●有価物販売額推移



2013年度環境目標の達成状況

2013年度目標		結果	評価
①	県内商品の取扱いを増やし、1年間の企画アイテム数を5%伸長させます。	20%伸長しました。	○
②	コープぜぜでの県内産野菜の取扱いを強化し、仕入れ高を前年実績から2%伸長させます。	277%伸長しました。	○
③	電気の使用量を前年実績から11.0%以上削減します。	前年実績から22.7%削減しました。	○
④	固定価格買取制度による太陽光発電システムを3事業所に導入します。	南草津センター、草津センター、北大津センターに設置しました。	○
⑤	エコドライブを推進し、配達車両の燃費を前年実績から3%改善します。	前年実績を0.1km/ℓ下回りました。	×
⑥	古紙パルプを70%以上含む事務用紙の使用率を100%にします。 (宣伝用は除外)	使用率は100%になりました。	○
⑦	事務用品のグリーン購入比率を50%に高めます。	購入率は58%になりました。	○
⑧	焼却する一般廃棄物の排出量は前年実績水準を維持します。	前年実績から12.3%増えました。	×
⑨	内掛け袋(HDPE)の回収量は前年実績を維持します。	前年実績を3.9%下回りました。	×
⑩	組合員からチラシ等の回収を強化し、チラシ等の販売量を5%伸長させます。	8.5%伸長しました。	○
⑪	コープの森の第2号を開設します。	コープの森あぶらひを開設しました。	○
⑫	コープの森余呉では年2回整備活動に取り組みます。また、コープの森第2号では第1回の整備活動に取り組みます。	余呉では悪天候のため1回だけの開催となりました。あぶらひでは整備作業の見学会に変更しました。	○
⑬	森林の果たす役割と森林整備の大切さを学ぶ学習会を県内各地で開催します。	5エリアで開催しました。	○
⑭	再生可能エネルギーを普及するための学習会や情報提供を推進します。	2会場で学習会を開催しました。	○
⑮	多様な組合員活動を推進し、のべ450名以上の参加をめざします。	600名以上の組合員が環境の活動に参加しました。	○
⑯	組合員の環境活動を組織内外に積極的に広報します。	ホームページでの広報を強化しました。	○
⑰	グループ企業や業務委託会社等と協議し、2020年に向けた具体的な温暖化効果ガス削減計画を作成します。	協議の結果、次年度温暖化効果ガスの削減目標の見直しを検討することになりました。	○
⑱	グループ企業や業務委託会社等のエネルギー消費量を把握し、コープしがの事業における温暖化効果ガス排出量を定期的に算出します。	今期の温暖化効果ガス排出量は、前年実績から8.1%増えました。	○

2014年度環境目標

- 《1》 電気使用量を前年から15%以上低減します。
- 《2》 リサイクル回収を強化します。
- 《3》 コープの森づくりを推進します。
- 《4》 県内産の農産物の取扱いを増やします。
- 《5》 再生可能エネルギーの導入・普及をすすめます。
- 《6》 役職員のエコドライブ講習の受講を推進し、ノーマイカーデーの設定・実践を推進します。
- 《7》 本部をモデル事業所に指定し、美化・緑化を推進します。
- 《8》 琵琶湖の環境保全活動に取り組みます。他団体などの取組にも積極的に参加し、年間延べ1000人以上の参加をめざします。

組合員の環境活動

びわ湖の日の取り組みは、組合員、一般参加者含めて235人の参加があり、山門水源の森散策と環境保全活動、宮ヶ浜清掃活動&地引き網体験とニゴロブナ放流、尾上港清掃活動と漁師さんのお話など各地区で様々な取り組みがおこなわれました。組合員が気軽に参加する環境活動（社会貢献活動）として定着しつつあります。また地域委員会でも、夏休みに親子でのエコバック手作り企画や牛乳パックのリサイクルについて知りたい思いからリバース工場見学などの取り組み

みがおこなわれました。組合員が身近な地域で環境活動を体験できる場として年々参加者が増加しています。

森林整備（コープの森づくり）や環境保全について組合員が知り学ぶ場として各エリア単位でコープの森学習会を実施しました。コープの森余呉での現地学習会や夏休みを利用して組合員が出来るボランティア活動も取り组まれました。また、自然エネルギーについて学ぶ場として再生可能エネルギーに関する学習会を滋賀県の協力のもと2地区で開催しました。



宮ヶ浜清掃 引き網体験



第4回 びわ湖清掃ウォーク



尾上漁港清掃活動



ニゴロブナ放流



川へGO



山門水源の森保全活動

2013年コープしが びわ湖の日の活動

コープしが びわ湖の日以外にも工夫を凝らしたさまざまな取り組みが広がりました。



よし刈り体験



森づくり学習会



環境に配慮した
ライフスタイル学習会



雪山へGO



コープの森見学会

コープしがの環境マネジメントシステム

コープしがは、1999年にISO14001の認証を取得し、ISO規格の環境マネジメントシステムを15年にわたり運用してきました。環境に悪影響を及ぼすエネルギー使用やゴミ排出等の管理・コントロール、また、環境に関する法令順守は一定のレベルに達したと判断しております。今後は、現在のレベルを維持することが主たる課題になります。

一方、15万人の組合員を擁するコープしがは、これまでに以上に環境に貢献する活動への取組が大切になってきます。

近畿の水瓶である琵琶湖を始め、森林、大地、川、大気などの様々な分野で、滋賀県の環境に貢献していくことは、私たちに与えられた社会的使命と考えています。

これまでの環境マネジメントシステムを土台にし、よりコープしがの組織運営に則した、広範囲な環境貢献活動を推進できる新マネジメントシステムを構築します。ISO14001の認証は今年7月に返上し、2015年度から新システムをスタートさせます。

～安心してご利用いただくために～

取り扱う商品すべての安全・安心を最重点として品質保証に努めています。

1. 商品事業の姿勢として「正直・誠実」に、商品の「安全（品質保証）」に取り組むことで、組合員の評価としての「安心」を大切にします。
2. 食品の生産から流通、消費に至る流れ（フードチェーン）全体で安全性の確保に取り組みます。

コープしがで取り扱う商品について、商品仕様書の点検や商品検査、取引先食品工場・生産農家やコープぜぜ店舗調理加工施設（インスタ）の点検等を行っています。これら一連の活動を通して、組合員の皆さんに安全・安心な商品をお届けします。皆さん、どうぞ安心してご利用ください。

商品仕様書

「商品仕様書」とは、商品がどのようにして製造されているかのカルテの役割を果たしています。商品を企画する際に、取引先より提出していただき、仕様や品質が法令基準やコープしがの取り扱い基準を満たしているか一つひとつ確認を行っています。

今年度、日本生協連による食品添加物基準の改定に伴い、コープしが食品添加物自主基準を改定し、新しい食品添加物自主基準（不使用添加物 12 品目、使用制限添加物 42 品目）のもとで商品仕様書のチェックを進めました。

商品検査

商品の品質・安全性の確認と検証です。検査によって、商品の状態を科学的・客観的に把握して、改善の取り組みにつなげていきます。コープきんき 7 生協による共同取扱い商品の検査はコープきんき商品検査センター“コープ・ラボ”で加工食品の微生物検査や野菜・果物・冷凍野菜などの残留農薬検査、放射性物質検査などを行っています。

	検査項目		件数	
			コープしが	コープきんき
新規検査	微生物	無店舗の水産、畜産、日配、パン菓子など	15	7,499
	食品添加物		—	902
	アレルギー		—	25
流通品検査	微生物	水産、畜産、日配、パン菓子など	488	7,934
		夕食サポート弁当	312	—
	残留農薬	冷凍野菜（輸入含む）	—	107
事前検査他	残留農薬	産直野菜・果物	—	1,155
	動物用医薬品	産直牛・豚・鶏・鶏卵・牛乳	22	—
	遺伝子組換え	Non-GMO表示商品飼料	4	—
	カドミウム	県産豆腐原料大豆・県産米	11	—
	放射性物質	17都道府県農産物、水産加工品他	0	452

コープぜぜ店舗施設の点検

コープぜぜの調理加工施設の衛生状態や作業状況を確認し、不衛生な箇所が見られた場合は改善を行っています。また、商品の表示についても、JAS 法や食品衛生法など食品表示に関わる法規制に基づき、名称や原産地名などが正しく表示されているか、一括表示シールの貼付もれはないか、包材の表示が値引きシールにより隠れてしまっていないかなど、日常的に点検を行っています。



調理場点検

取引先の点検

コープしがが独自に取り扱う商品の食品工場や産直農畜産産地・農家の衛生状態や薬剤管理、商品仕様書内容の確認等の点検を行っています。

取引先	点検数
水産・畜産加工メーカー	19
日配・牛乳メーカー	24
パン・菓子メーカー	11
一般食品メーカー	16
産直農産産地・農家	26
産直畜産農家	29



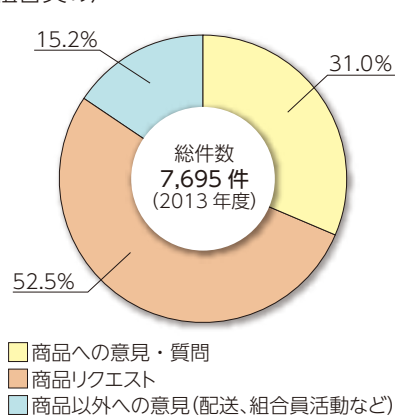
食品工場点検



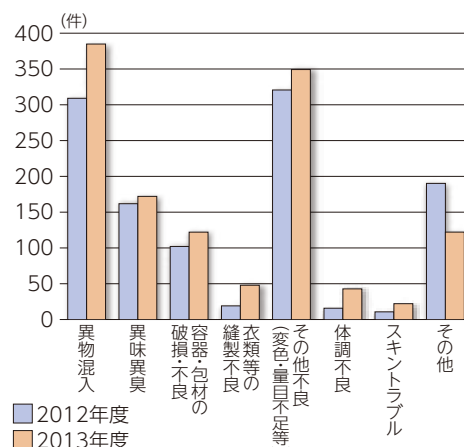
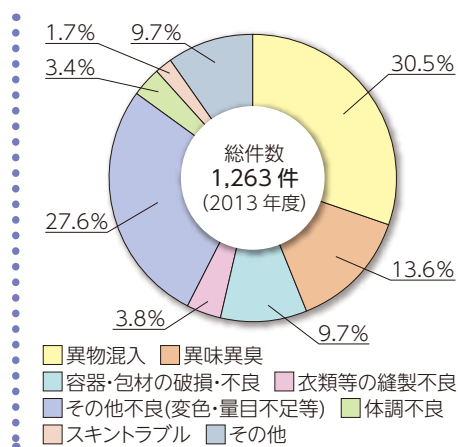
産直農産産地点検

組合員から申し出いただいた商品への意見・苦情について、品質の不具合は改善し、より良い商品の提供を追及しています。

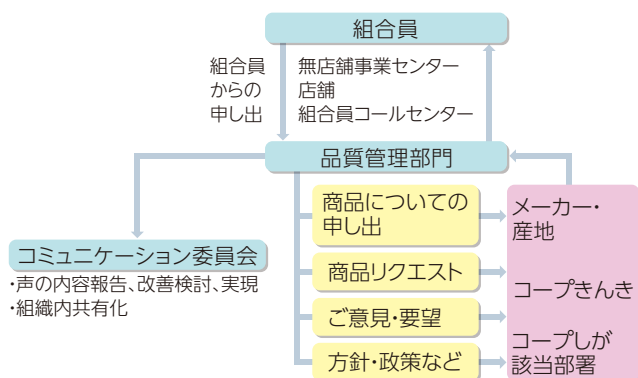
＜私もひとことカード＞に寄せられた組合員の声



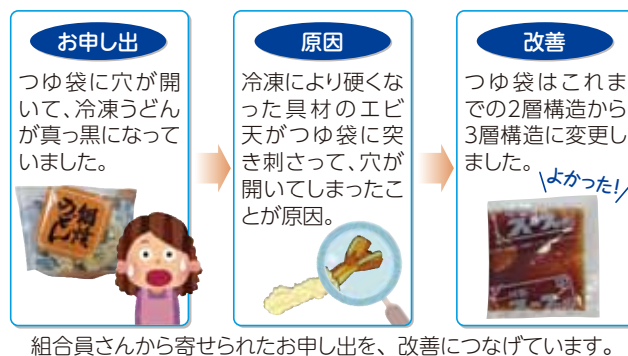
＜商品相談連絡書＞へのお申し出



●組合員からの声の流れ



●声の実現・改善



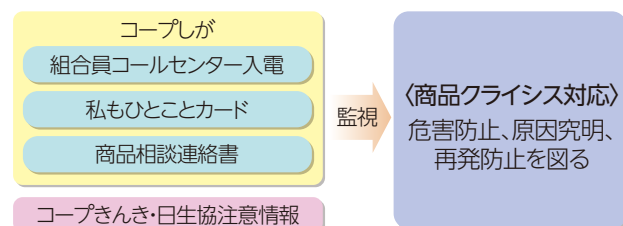
予兆監視及び商品事故管理体制

日常的に組合員コールセンター、私もひとことカードなどで寄せられる申し出内容を監視し、重大商品事故と疑われる事例が発生した場合は、緊急対策会議・本部を設置し、「商品クライシス対応マニュアル」に基づいて対応するよう定めています。

アクリフーズ群馬工場の冷凍食品へ農薬マラチオン混入事件の際には、12月29日にコープきんきより連絡が入り、当日、速やかに対策本部の設置、断続的に緊急対策会議を開催し、店舗から該当商品撤去・店頭告知、過去1年間の該当商品

利用組合員 11,675 名へハガキによる連絡、農薬検出商品と同時期製造された商品利用組合員 253 名へ緊急電話連絡、ホームページ・チラシによる情報提供などの対応にあたりました。

●予兆監視



学習会・情報発信

食の安全を進め安心を得るためには、組合員とのコミュニケーションがとても大切です。コープしが食品添加物自主基準の改定や、商品案内書における添加物表示の見直し、LA S系合成洗剤・塩ビ系食品用ラップの取り扱いについて、県内全7エリア地域で学習会の開催や広報等を重ね、コミュニケーションに取り組みました。



洗剤・ラップの学習会

県内産直開発

県内原料を使用した県内商品の開発や新規取り扱いを開始することで、地産地消を推進しました。生協で取り扱う商品では、県内原料使用や県内製造を意識して、地域振興や社会貢献につなげています。持続可能な生産に配慮した産直は、生産や製造段階で環境に配慮した方法を意識しており、環境保全・循環型農業の推進につなげています。

- 1) 県内産直米の利用登録を推進して、「マザーレイク滋賀応援寄付」に取り組み、登録米 1 Kgにつき 1 円を支出し、滋賀県に寄付しています。コープしがの登録米は、環境にこだわって生産しており、農薬使用を制限しています。田んぼや農業用水の排水の水質を悪化させないことは、びわ湖の生き物にやさしく、環境負荷の軽減につなげる取り組みと考えています。
- 2) 地産地消協議会を定例的に開催し、全農滋賀・地域JAとの連携・提携強化を行い、産物の掘り起こしや地産地消の推進に関する協議を行いました。
- 3) 地域農業（JAおうみ富士）と連携しての商品づくり（じゃがいも：種芋植え→草刈→収穫→選定）と組合員への供給を通じて、県内経済の活性化に努めました。

商品づくり委員会

この委員会は、1) 産直原料を使った商品を開発し普及することや、2) 県内産商品の開発・新規取り扱いをすすめることで地産地消の推進を目指しています。また、3) 過去の開発商品の見直し・改善や、4) 「オリジナルクリスマスケーキ・おせち」の検討、5) 開発商品を広く組合員にお知らせしていくことを主な目的としています。

2013 年度は、オリジナルクリスマスケーキとオリジナルおせちの検討と普及、産直商品と県内産の原料を使用した商品（3 品目）の開発に取り組み、産直商品（原料）の普及と地産地消の推進に寄与しました。



2013 年度 商品づくり委員会のみなさん

資料

商品づくり委員会 2013年度開発商品

スプーンで！しっとり紅はるか

製造者 大山乳業
発売時期 2013 年 12 月 1 回
規格 1 個
組合員価格 120 円

商品特徴、こだわり

こだわりポイント 1

千葉県産の糖度の高い産直さつまいも「あまゆう（紅はるか）」使用。

こだわりポイント 2

紅はるかの規格外品を有効活用した商品。

こだわりポイント 3

大山乳業の乳製品も使用した「産直×産直」コラボスイーツ。



滋賀県産小麦食パン

製造者 丸栄製パン
発売時期 2014 年 2 月 3 回
規格 6 枚
組合員価格 268 円

商品特徴、こだわり

こだわりポイント 1

滋賀県産小麦粉 100% 使用した食パンです。近江八幡の「みなみのかおり」と「ゆめちから」をブレンドしました。

こだわりポイント 2

食パンに適した小麦配合をし、低温発酵でうま味をじっくり引き出しました。

こだわりポイント 3

白く柔らかで
クセのない味に
仕上がりました。



にんにくみそ

製造者 小池手造り農産加工所
発売時期 2014 年 4 月 1 回
規格 150g
組合員価格 378 円

商品特徴、こだわり

こだわりポイント 1

JA おうみ富士のエリアで収穫したにんにくの加工品です。

こだわりポイント 2

ビンの形状は手で握りやすく、中身をスプーンで出しやすいものにしました。

こだわりポイント 3

使い切りやすい
量目にしました。
（直売所では
300g で販売）



生産者と手をつないで食の安全・安心と安定をめざします

コープしがは地産地消・産直・県内開発の近い食をすすめます

滋賀県は稲作を中心にした農産物の生産県で、食料自給率（カロリーベース）は約50%です。コープしがでは持続可能な安定供給をめざし、地産地消・産直提携を推進しています。その一環として、食と農を考える・産直フォーラムを各地域で開催し、生産者と消費者の交流を深めています。

また、地元のJAおうみ富士と地場産提携に関する協同組合間協定を結び、組合員や役職員による農業体験（植え付け～収穫まで）を実施し、地産地消・農業問題を学ぶ機会を提供し、収穫した農産物をぱくぱくエコーで企画し組合員にお届けしました。



地域版産直フォーラム



じゃがいもの植え付け体験



収穫したじゃがいも、約1トン

『地産地消推進協議会及び飼料米利活用推進協議会』の取り組み

両協議会では、県内の主要な生産者・JAや生協を中心に、行政にもオブザーバー参加していただき地産地消の推進を行ってきました。お米の消費拡大や県内特産品の掘り起こし活動をすすめると共に、エサも地産地消として、休耕田の有効活用になる飼料用米の利用をすすめ、循環型農業・環境保全に努めています。また、毎年食と農を考えるシンポジ

ウムを開催し、食料自給率や農業の現状を学び地産地消の大切さを訴えてきました。昨年は「食と農を考えるフォーラム：TPPでどうなる私たちの食卓・しがの農業」を開催し、TPPによって私たちの食卓や農業・食料への影響などについて学習と意見交換をすすめました。



2013 食と農を考えるフォーラム



参加者もうちわを挙げて意思表示

様々な世代や多様なライフスタイルに応じた活動参加ステージ

コープしがでは「一人ひとりの想いや願いを協同の力でかなえていく」ことをめざして「組合員どうし」「生産者と消費者」「地域と生協」をつなぐ多様な取り組みを進めています。

食・商品・食育に関する活動

地域委員会を中心に商品開発・見直し活動への参加や商品試食学習への参加をすすめています。また、生産者と組合員の交流企画をエリア単位で開催し組合員委員の想いから生まれた企画内容を大切にしながら取り組みをすすめ、産直商品を通じて地域の組合員と生産者の交流をすすめました。

生産者との交流

コープしがでは産直産地への訪問交流を活発におこなっています。参加された組合員からは米作りの苦労を体験し、「食育学習を通じて多くの子どもにとって食べる大切の実感と食育活動の場となりました」など多くの感想をいただいております。一人ひとりの貴重な経験や思い出となり、話題づくりや産直商品の購入につながっています。



親子で手作りウインナー作り



田植え稲刈り体験

チーム・ひろば活動

組合員が、地域の中の様々な人たちと一緒に、自由に柔軟な発想に立ち、取り組むことのできる活動として 2013 年度、多様な活動が取り組まれ「商品」「環境」「福祉」「平和」「子育て」「消費者力」など多様な活動に 3,768 名の組合員が参加しました。



湖魚応援隊



子育てひろば

ぱくぱくパーティー

「ぱくぱくパーティー」は、生協が無料でお届けする商品をつまみながら、ご近所、友達、家族などで気軽におしゃべりを楽しんでいただく企画です。ぱくぱくパーティーをきっかけとして、人と人とのつながりが広がることを目的としています。2013年度は、3,607 ャ所で 12,288 人が参加する取り組みとなりました。

パーティー終了後に提出いただく「ぱくぱくメモ」から、組合員のくらしの背景や生協への想いを役職員が共有化し、事業や活動に活かしています。

ぱくぱくメモから

資料

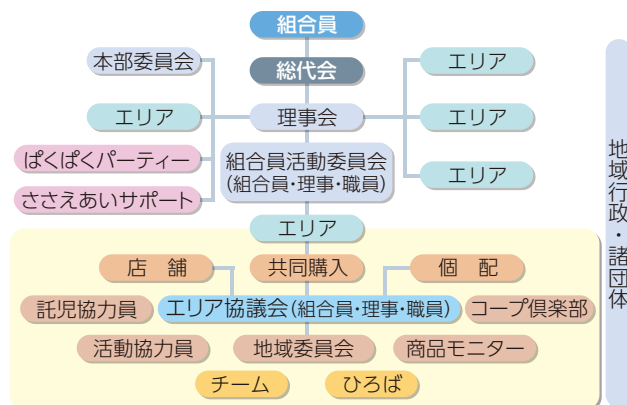
- ・買い物に行く回数が減り、できた時間が有効に活用できる。忙しいときに特にそう思う。
- ・週1回近所の人と話す機会となっている。生協が無いとなかなか話をすることが無いので。
- ・冬に雪が降ると買い物に行きにくいので、そのときに生協に入っていて良かったなあと思う。
- ・平和のことなど話題に出してもらえるので、そうしたまじめな話がしやすい。
- ・介護をしている家族の体調が悪くなったときに、支援をしてくれるところが無いこと。
- ・子どもが小さいので、美容室に行きたいとか、歯医者に行きたいとか思っても行けない

組合員みんなの想いがつながって、広がって

組合員による「運営と参加」

組合員の活動は、県内を7つのエリアに分け、「エリア協議会」を中心に、行政区単位を基本に設置されている29の「地域委員会」が各地域で様々な活動に取り組んでいます。コープ商品学習会や産地見学など、学び知り、知らせる交流の場作りを行っています。また個々の組合員は、学びの場コープ倶楽部やひろば活動・チーム活動など感心や興味がある活動・催しなどに参加しています。

●組合員組織構成図



平和を願う活動

●夏の平和学習

ヒロシマ平和学習

組合員から寄せられた「平和募金」を活かし、被爆の実相を学び伝える「2013ピースアクション in ヒロシマ」に参加しました。原爆資料館の見学や平和記念式典への参加、被爆の証言を聴き、考えるワークショップなどを通じて平和のためにできることを考え合いました。県内では毎年8月6日に三井寺で実施されている原爆死没者慰霊法要に『短冊（平和への提言）』に平和への想いを寄せる活動として、当日参加できない組合員も含め85名が平和の願いを記しました。また身近なところから平和を学ぶ「県内戦争遺跡めぐり」を行い、10名が戦争当時のくらしや世相から戦争の悲惨さ、平和の大切さを学びました。



三井寺慰霊法要
(風船に短冊を付け、大空へ)



ヒロシマ平和学習
(原爆死没者への献花)



ヒロシマ平和学習
(平和公園内の碑めぐり)



県内戦跡めぐり
(八日市 掩体壕)



県内戦跡めぐり
(米原市 蒸気機関車避難壕)

●国際協力・災害支援

国際協力

(ユニセフ募金・書き損じハガキ回収キャンペーン)

(公財)日本ユニセフ協会への募金活動を行い、お年玉募金などの「一般募金」のほか「フィリピン台風緊急募金」「ラオス指定募金」に合わせて5,136,208円の募金が寄せられました。また、NGOを通じて書き損じハガキや外国紙幣など家庭に眠る有価物を国際協力に活かす、「書き損じハガキ回収キャンペーン」への協力を呼び掛け、2,509件（換金額4,196,479円）が寄せられました。

災害復興支援

9月中旬の台風18号による豪雨災害の被災者支援として滋賀県共同募金会を通じて滋賀県に義援金1,000,000円を贈りました。

2013年募金活動の実績	
2013年度 平和募金	473,366円
台風18号 災害義援金	1,000,000円
フィリピン台風緊急募金	3,785,935円
ユニセフ一般募金	850,273円
ラオス指定募金	500,000円

人のつながりの中で、よりよい暮らしをともにつくる ウェルビーイング(well-being)な福祉をめざしています

※ウェルビーイング (well-being) とは、幸福な状態、安楽な状態を表す言葉です。

くらし方、働き方、生き方を、地域に暮らす全ての人々が自己実現できる権利が保障されている考え方を表しています。

コープしがでは福祉を広くとらえ、一人ひとりの人間が社会的なつながりの中で、幸せをめざして生きていく力が伸びることと考え「よい状態を共につくる協同」をめざしています。人のつながりの中で、ふだんのくらしのしあわせを共につくる支えあいとして福祉をとらえ、地域の諸団体ともに「くらしを創造する福祉」に取り組みたいと考えています。

誰もが通る“おい”に向かいあう介護保険事業の取り組み

高齢社会が深まる中、2014年5月新たな事業として介護保険事業をスタートしました。

事業内容は、居宅系サービスであるケアプラン作成、通所介護、訪問介護の3事業です。利用されるご高齢者自身が生きがいを持てるくらしのためのお手伝いとして、生活機能の維持・回復を大切にするケアサービスに取り組んでいます。

また2階には組合員、地域住民の方が活用できる会議室もあり、「介護なんでも相談会」や「コミュニティカフェ」、「お食事会」や「地域福祉学習会」など、地域のみなさんのお役に立てるようなさまざまな取り組みを通じて、地域に根差した福祉拠点施設となることをめざしています。



●ケアサポートセンターぽこ

大津市柳川 2-11-25 電話：0120-81-6580

くらしの相互扶助制度「ささえあいサポート」

組合員同士がお互いさまの気持ちでくらしを支えあう、相互扶助制度として2006年にスタートしました。依頼受付件数は30,000件を越え、子育てから高齢者だけでなくさまざまなご依頼がよせられています。2013年度は3,976件、6,494時間のご利用がありました。

サポート内容

家事援助、ペットのお世話、庭の手入れ、介護者の応援、託児サポートなど

●利用料金

1,000円(税抜) / 1時間

(一般的な活動)

1,400円(税抜) / 1時間

(技術、体力がいる活動)

電話：0120-294-589

(月～金 9～17時)



地域の交流の場「ゆめふうせん」

「ゆめふうせん」は個人や団体など地域の方々に会議や学習の場として、また趣味の集いなどにもご利用いただけます。誰でも気軽にふらっと立ち寄れる屋根付き公園の「ふらっとプレイス」は憩いの場として、子どもさんたちが元気に遊び、お母さんたちの笑い声があふれています。



●貸室

1,000円(税込)～1,800円(税込)

ふらっとプレイス大人100円

ふくし情報電話の取り組み

「ちょっと知りたい」から「とても困った」ことまで介護や認知症のこと、子どもを一時保育してくれるところ、不登校や学校生活の問題、心の悩み その他どんなことでも、その方に役立つ情報提供や相談窓口への取りつなぎを致します。

サポート内容

電話：077-571-1561 (月～金 9～17時)

FAX：077-574-1570 (月～金 9～17時)

E-mail：fukushi@coop-shiga.or.jp

東日本大震災復興支援「希望をつなぐプロジェクト」

2011年3月11日に起こった東日本大震災からの復旧、復興支援する活動を現在まで継続して取り組んでいます。2013年は、被災地の復興状況や現状を参加者自身で学び、被災地の組合員や生産者と交流を図ることを目的に福島県、宮城県への訪問交流を実施しました。その他、福島市に室内の遊び場を充実させ子ども達の健康増進や親子のつながり絆づくりを目的に木のおもちゃを届ける取り組みや宮城、福島へ訪問交流に参加した組合員を中心



木のおもちゃ贈呈式

に今後自分たちで出来る支援について考える場として震災を忘れない交流会 in しがを開催しました。



震災を忘れない 訪問交流 in みやぎ



震災を忘れない交流会 in しが

● 地域の安全を守る取り組み

交通安全の実践

2011年9月5日（月）コープしがの運転する車両により人命を奪う重大な事故を発生させました。

2度と事故を発生させない決意のもと、「コープの車両は安全運転を実践している」とも皆様に認めてもらえるよう全力で交通安全につとめます。

事故発生状況(3月末累計)			
車両台数	2013年度	2012年度	2011年度
164	35	50	56

「チャレンジ50」の企画に取り組みました。

安全運転強化月間に合わせ、9月1日～10月20日「チャレンジ50」として、事業所周辺道路の清掃や見送り活動など、地域貢献活動に役職員364人が参加しました。今後も「道路をお借りして生協活動をさせて頂いている謙虚さを持ち、安全運転の徹底に努めます。



チャレンジ後



チャレンジ前



通学の見守り活動

「飛び出し注意」看板の設置

地域の安全確認の注意が必要な場所に、「飛び出し注意」看板を組合員や自治会などに紹介し、県内に約2,000枚が設置されました。



「子ども110番のくるま」地域の見守り活動

2004年から行政や警察、教育委員会などのみなさんとともに、配送車両にステッカーを貼って、地域の見守り活動をすすめています。



コープしがと協定を締結している自治体

滋賀生協連やコープしがでは、滋賀県や地域行政との間で「災害時生活物資の調達に関する協定」を結び、防災訓練に参加し、大規模な自然災害等に備えています。

大津市	平成17年1月13日	近江八幡市	平成18年2月14日
愛荘町	平成17年1月13日	彦根市	平成19年1月17日
高島市	平成17年6月22日		

新たな自治体との取り組みを始めました

◇2012年10月3日 米原市

「絆で築く安心な街づくり協定」締結

◇2013年3月18日 草津市

「安心が得られるまちづくりに関する協定」締結

◇2013年6月20日 長浜市

「長浜市地域の安心見守り活動に関する協定」締結

◇2014年3月26日 高島市

「高島市見守りネットワーク事業」に関する協定を高島市と締結しました。

この両市との協定では、市民の安全及び生活環境を守り、安心して暮らせるまちづくりを推進するため、日常的に高齢者や子どもたちの見守りや道路の異常などを配送者が発見した際にその情報提供したり、災害時の食料品や生活必需品の供給、被災者の情報を提供する協定です。

「認知症サポーター」の取り組み

2012年無店舗センターを中心に全県で役職員が「認知症サポーター養成講座」を受講し、彦根センターは彦根市の認知サポーターキャラクター「オレンジロバ」ステッカーを配送車両に貼り推進しています。

また高島市でも「見守りネットワーク推進会議」に参加し社会福祉協議会や行政機関と連携し地域の見守り活動に協力しています。



児童虐待防止

「オレンジリボンキャンペーン」の取り組み

2008年より滋賀県児童虐待防止月間に全役職員が参加し「オレンジリボン」を着用して、児童虐待防止を訴え、発見時は各市町窓口へ連絡する取り組みをすすめています。



「滋賀県におけるレジ袋削減に関する協定」の取組み

滋賀県内小売24社と12の団体が、4月1日よりレジ袋の有料化によりCO₂削減の取り組みを開始しました。コープしがでは1983年瀬田店より全店で有料化を行い、現在お買い物袋持参率が95%を超えています。

「マザーレイク滋賀応援寄付」の取り組み

コープしがでは無洗米利用登録やCO・OP洗剤の利用高から、琵琶湖の環境を守る取り組みに寄付をすすめています。

組合員とともに歩むコープしが

人のつながりを大切にし、組合員のくらしの安心と向上をめざしています

1. 滋賀の生協運動のはじまりとコープしがの誕生

滋賀の生協運動

1970年代、琵琶湖の環境汚染問題や当時の食品添加物の安全性の問題などから、地域の婦人グループや団体、労働組合などの活動により、1972年に滋賀の生協運動が始まり、4つの地域生協が誕生しました。

各生協では有害添加物の排除や生産者の顔が見える減農薬や産直を育ててきました。家庭から出る廃食油を使った石けん使用運動などで、琵琶湖を守る運動として「琵琶湖条例（富栄養化防止条例）」の制定など大きな役割を果たしてきました。

コープしがの誕生

しかし1980年代後半、くらしの変化や価値観の多様化、バブル崩壊により経済危機など生協を取り巻く環境が変化し、協同組合の原理・原則を基本として運動や事業の形態を変えていくこと、さらに21世紀に向けて滋賀の生協運動の役割を果たすため、1993年3月21日、県内の4生協が合併し「生活協同組合コープしが」が誕生しました。



第1回通常総代会議案書
(1993年5月)

2. コープしがのめざすもの

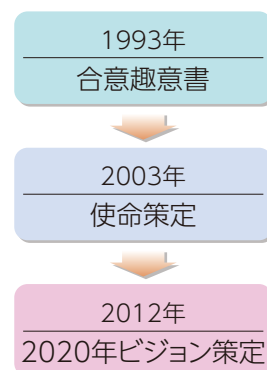
使命

2003年第3次中期計画で、新たな10年間を展望して「コープしがのめざすもの（使命）」を策定しました。この使命は事業体を通じて「安心とぬくもり」を提供し、人・社会・自然を大切にする社会的責任(CSR)の姿勢を明確にしました。

2020年ビジョン

2012年度第6次中期計画で、新たな10年間を展望し「2020年ビジョン」を策定しました。「私たちは、人と人とのつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現をめざします」の実現に向けて、5つのアクションプランを重点的に取り組んでいます。

●ビジョン策定まで



3. 生協の基本的価値（生協法）

生活協同組合（生協）は、組合員が出資し、組合員が運営し、組合員が利用する三位一体の組織です。生協法は「国民の自発的な生活協同組合の発展を図り、国民の生活の安全と生活文化の向上を目的」（第1条）とするとしています。



2013
コープしが設立
ありがとう20周年
記念ロゴ

4. ICA 協同組合のアイデンティティ

定義

協同組合は、協同で所有し、民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的ニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人々の自治的な組織である。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれ創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という論理的価値を信条とする。

原則

1. 自発的で開かれた組合員制
2. 組合員による民主的管理
3. 組合員の経済的参加
4. 自治と自立
5. 教育、訓練及び広報
6. 協同組合間協同
7. コミュニティへの関与

コープしが：スパイラルマーク



地球上にすむ生物は、一つの生命体から進化した家族であり、それらは地球から多くのことを学び、発展してきました。1993年3月、滋賀県の4生協は“自然・世界とともに発展する生協”をキーワードに「コープしが」として新たに発足しました。シンボルのスパイラル（うず巻き）は、コープの「C」を表すほか、巻貝、蔓、渦、波紋、風などの自然を象徴し、さらに、求心と拡大、進化の軌跡などの発展を象徴しています。私たちは、いつも大きな共同体の一員であることを意識して生きていきたい。そして、「公平さ」「賢明さ」を大切にしていきたいと思います。

～私たちは人と人とがつながり、笑顔があふれ、 信頼が広がる新しい社会の実現をめざします～

第6次中計画（2012～2014年）の主な骨子

2020年ビジョンを見据えた最初の3カ年として、「新しい生協づくり」の第一歩を踏み出します

アクションプラン3

世界と日本社会への貢献

平和で維持可能な社会と安心して
くらせる日本社会の実現をめざし、
積極的な役割を果たします。

- ①新環境政策にもとづき、低炭素・自然共生・循環型の社会実現に向けて、省エネの推進、廃棄物の削減、環境保全等の取り組みを強めます。
- ②世界的な食料事情を見据え、県内のJAや農家との連携を図り、食料自給率向上に貢献します。

アクションプラン2

地域社会づくりへの参加

地域のネットワークを広げながら、
地域社会づくりに参加します。

- ①地域の行政やさまざまな団体と協同し、ささえあいサポートをより広めます。
- ②介護保険事業（訪問介護、通所介護等）を含めた新たな福祉事業に挑戦します。
- ③生協の事業・活動のインフラを活用しながら、地域社会の変化から生まれる新たなニーズに応えた取り組みを展開します。
- ④大規模災害時においても食の調達と事業継続が図れるようBCP（事業継続計画）を作成します。また、災害時物資協定や災害訓練等、地域行政との連携を強めます。

アクションプラン1

ふだんの暮らしへの役立ち

組合員の願いを実現するために、
食を中心にふだんの暮らしへの役立
ちをより一層高めます。事業革新に
不断の努力を続け、組合員のくらし
に貢献し信頼を培います。

1. 無店舗事業
①組合員一人ひとりの満足度の向上をはかり、組合員の利用を高めます。
②商品やサービスを充実することで一人当たりの利用点数を増やし、世帯利用高の維持向上をめざします。
③毎年1万人以上の組合員を新たに迎え入れ、基幹事業として成長させます。
④効率的な配送の追求と地域に適した配送形態の実施により、収益性をより高めます。
2. 店舗事業
①店舗事業の経営改善をはかり、独立採算をめざします。
②多くの組合員が生協店舗を利用できるよう、SM店の多店舗展開をめざします。
③店舗は買い物だけでなく、組合員の集う場として、各地域の組合員活動の拠点にします。

アクションプラン4

元気な組織と健全な経営づくり

組合員が元気に参加し、職員が元
気に働き、学びあい成長する組織
と、健全な経営を確立します。

- ①地域と結びついた元気な組合員活動を推進し、多様な参加を広げるとともに、活動の拠点として集まれる「場づくり」に取り組み、機関運営・組織運営への参加を高めます。
- ②国際協同組合年（2012年）、コープしが20周年（2013年度）を、今後のコープしの発展につなげていく契機にします。
- ③職員の満足度を高め、より能力を発揮できるよう制度や運用の改善をすすめます。
- ④更なる事業の成長のための投資やサービス向上が可能となる経営構造を確立します。
- ⑤環境変化に対応できる強い財務構造の確立をめざします。
- ⑥組織の健全性や効率的な運営が確立されるよう内部統制の強化を図ります。
- ⑦子会社グループとの連携強化による経営改善を図り、将来ビジョンを検討します。

アクションプラン5

さらなる連帯の推進と活動基盤

全国の生協が力を合わせ、組合員の
くらしに最も役立つ生協に発展させ
ます。

- ①日本生協連やコープさんきとの連携をもとに、食の安全安心をさらに追求します。
- ②無店舗事業は、コープさんきとの連帯を強め、コープさんき各生協との連携をすすめます。
- ③店舗事業は、近畿圏の生協との連帯をすすめる、本部機能の効率化と統一仕入による効果を高めます。
- ④くらしの保障事業は、組合員とその家族が一番に選ぶ共済事業をめざします。
- ⑤日本生協連を軸にした広域連携に参加し、大規模災害時対応に備えます。

「コープしがは、10年後には、滋賀県民の誰もが参加できる生活協同組合として、
事業を進化発展させ、県民の過半数が利用する組織に成長することをめざします」

「内部統制基本方針」にもとづき 「コンプライアンスとリスク管理」の取り組みを すすめています

1. コーポレートガバナンスの状況

機関運営

コープしがの機関は、組合員の代表である総代が方針や事業計画などを決定する総代会、総代会から選任された理事会と組合を総理し業務執行する代表理事、その決定や業務執行を監視する監事で運営を行っています。

理事会

理事会は毎月開催し、総代会で承認された方針の意思決定と代表理事や常勤理事会の日常業務の執行状況を確認しています。



第33回通常総代会会場 (2013年)



第33回通常総代会採決 (2013年)

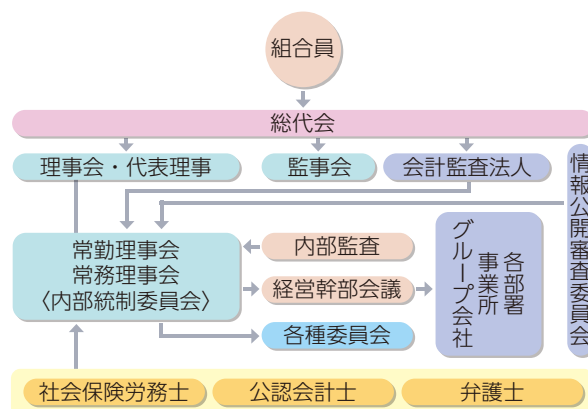


理事研修会

監査

総代会から負託を受け理事会の業務執行を監査する監事監査、会計監査法人による外部の会計監査、内部監査担当による監査の三様監査でチェックしています。

●コーポレートガバナンス体制



組合員の運営参加

3つの運営参加

組合員は、無店舗事業や店舗などの利用を通じて参加する「事業活動ライン」、地域委員会やエリア活動を通じて参加する「組織運営活動ライン」、そして「総代」の地域別総代会議や懇談会などの活動を通じて参加する「機関運営活動ライン」をもとに生協に運営参加します。



年度末総代懇談会 (長浜臨湖)

総代の活動

総代は、総代会に参加しコープしがの方針を決定します。そのために総代会以外の年3回の会議で、活動への参加や利用の参加を通じて組合員のくらしやニーズなどを生協へ意見を述べます。



年度末総代懇談会 (米原公民館)

2. コンプライアンスの推進

コンプライアンス宣言と教育

2005年「コンプライアンス宣言」にもとづき「コンプライアンス法令倫理遵守基本方針」を策定し、「コンプライアンス自主行動基準」によるハンドブックの携帯、学習、セルフチェックなど教育活動を積極的に取り組んでいます。

個人情報保護

個人情報保護法にもとづき15万人組合員データをセキュリティにより適切に管理しています。個人情報規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。取引先や委託業者には覚書を交わし、安全管理の義務付けと定期的な点検を行っています。

3. リスク管理の徹底

リスクマネジメント

コープしがの全業務に係わるリスクを洗い出し、個々に分析・評価を行い、リスク管理表を作成し発生防止に努めています。全職員にリスク教育を行い、発生防止対策や発生時と収束後の対応をルール化し徹底しています。

危機管理

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管理規定や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。地震や台風など大規模災害の対策は、震災対策マニュアルやBCP（事業継続計画）を整備し、組合員や地域への事業者責任を果たす準備や対策を講じています。

組合員一人ひとりの声をしっかりとつないでいきます

組合員コールセンター

組合員の様々なお声を頂く部署として、お気づきの点などお気軽に声をお寄せください。寄せられた皆様の声はより良い生協作りに繋げていきます。

組合員の皆様に喜んで頂ける様、「ありがとう」の声を頂ける気持ちの良い電話対応を心掛け、そして、頂いた声を大切にして「私もひとことカード」や「ぱくぱくメモ」なども含め、コミュニケーション委員会にて問題点や改善事項の協議をおこないます。組合員の皆様の思い、事例研究の実施などを行う事により、コープしが全体で声を受け止め、意識の共有化を行っています。



●問い合わせ内容と件数

2013.3.21～2014.2.15まで

内容	合計
①電話注文・訂正	209,000
②良品返品	10,072
③商品不良	7,010
④商品苦情	667
⑤商品問合せ	8,334
⑥過不足	14,135
⑦未誤配	5,517
⑧配送	29,474
⑨手続き	22,040
⑩購入代金	8,899
⑪夕食サポート	7,205
⑫意見・要望	603
⑬インターネット	1,221
⑭その他	13,458
⑮合計	337,635

資料

うれしい声

■昨春の加入より1年、〇〇さんに世話になりました。配送でお忙しい中にもかかわらず、手続き等丁寧に説明していただいたり、2歳児にニコニコ対応してくださり感謝しています。

■6月27日（木）夕食配達でいつもはチャイムを鳴らせば出てこられるのに、当日は出てこられず玄関の所に血が落ちていたので、不審に思いのぞき込むと台所のドアのところに血がいつぱい付いていた。利用者さんが手にアザがあり額から流血し、ろれつが回らない状態で立っておられた。利用者さんをすぐに座らせて救急に連絡し5分ほどで救急車が到着し、引き継ぎ、その後残りの配達に出られたとのこと。同時に〇〇さんから事務局にも電話が入り、事務局から緊急連絡先のご家族の方へ連絡を入れました。利用者様は近くの総合病院へ緊急入院されました。

▶翌日、野洲事務所に息子さん夫婦がお礼に来られました。

組合員コールセンター会話事例

■青果などで時々産地を替えてのお届けや、代替品が届きますが、届いてし

まえばもったいないと思いがちですが、産地なども見てこの商品ならと思いついて注文しているので、産地変更や代替品になる場合、お届け前に分かるような方法はないのでしょうか。

▶1週間前にご注文いただいている商品を欠品でご迷惑をおかけすることのないように代替品のお届けも含めて、「お届けすること」を最優先に対応しております。現状は事前に欠品・代替の連絡が出来る仕組みがありません、今後の課題としています。

私もひとことカードにて

■キャンペーンについて、エントリー不要、当選者の発表も無いので、本当にキャンペーンに参加できたのか、実施されたのかも不明です。購入意欲をだしているのに報われない気がします。せめて、エントリー制、当選者の発表があると現実味もあります。検討お願いします。

▶当選された方が確定してから、組合員さんにお知らせするまでに4週間程度時間がかかること、告知する為のお知らせ配布にコストがかかることなどから、賞品のお届けをもって発表に代えさせていただきます。何か全体で見える事も必要で、今後の課題とします。

■8月にローズタウンが閉店になり、お店にしかない“大きなさくらたまご（6個入り）”をチラシの企画に載せてください！とてもおいしいので！

▶この間のミニコープ閉店に伴い、無店舗の利用に変わった方で、今まで店舗で利用していた「お気に入り商品」が取り扱いされていない声を多く頂きます。無店舗事業における制約があり、全ての要望を実現することはできませんが、声に応える姿勢と努力が必要です。

事例研究報告

■【担当の〇〇さんへ】「暑い時期、重い物ばかり頼み、快く持ってきていただいて申し訳なく思っています。〇〇さん、笑顔のさわやかな方で、いつも感謝しています。本当にありがとうございます。」とのこと。

▶今回は感謝された声についての事例研究です。普段からの組合員さんとの関係作りや、相手を思いやる気持ちが信頼関係に繋がり、今回の事例のような声に繋がっています。組合員担当としての仕事にプライドを持って、組合員に接していきましょう。組合員担当者として組合員との一番身近な関係が必要です。

組合員とともに歩むコープしが

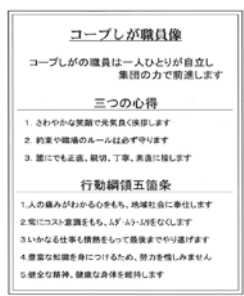
「コンプライアンス自主行動基準」を遵守し 「コープしが職員像」を実践します

コープしがでは、すべての職員のあるべき姿を「コープしが職員像」として掲げています

すべての職員のあるべき姿を「コープしが職員像」として掲げ、「三つの心得」と「行動綱領五箇条」を常に意思し、コープしが職員としての自覚をもち、業務を行っています。



新年役職員全体集会



組合員のくらしのお役たちのため、
多様な雇用形態の中で働いています

正規職員、準職員、嘱託・パート・アルバイト職員など約727名が働いており、特に組合員宅へ商品配達する「組合員担当者」の約42%はパート職員が担っています。

店舗では全職員の約88%以上が嘱託・パート・アルバイト職員で運営されています。またこの8年間で12名がパートから正規職員へ登用されています。

コープしがでは、
全ての役職員が遵守する
「コンプライアンス自主行動基準」をもとに
行動しています

I. 組合員の願いを実現するために

- ① 組合員の願いを応える商品・サービスの実現
- ② 組合員の声を聴き誠実な対応
- ③ 正確・適切・正直な商品情報の提供
- ④ 商品事故や法令等違反を防ぎ、発生した場合の万全な対応
- ⑤ 組合員個人情報の取り扱いと漏洩防止
- ⑥ 全ての組合員に分け隔たりない公平な対応

II. 健全な経営と運営をすすめるために

- ① 法令や定款・規約・内部諸規定にもとづく健全な事業経営
- ② ルールにもとづく適正な機関運営
- ③ 適切な情報公開と開示
- ④ 内部監査の充実
- ⑤ 役員や指導的立場の職員の責任の重さと自覚を持った職務遂行
- ⑥ 知的財産権の遵守

働く意欲を持つ定年退職者の再雇用制

「職員定年後再雇用規程」を設け、本人の勤務希望などに応じて正規職員や定時職員の再雇用をすすめており、2006年3月から2014年3月までに13名を再雇用しています。

正規・非正規職員は共に人事諸制度を活用し、能力開発とキャリア開発をすすめています

人事諸制度は、人材育成を目的として職員と上司が年3回面接し、成果や課題、能力や態度など仕事のプロセスも含め評価し、昇級や賃金への反映などを行っています。人事諸制度の再構築のポイントは「一人ひとりの職員に求める行動を示し、それに向けて頑張っている職員が正しく評価され報われる制度にすること」です。

教育制度は、採用・振り返り・中堅職員などの階層別や役職別の研修、職務上の知識や技能を習得する目的別研修、また自己キャリア開発などの資格取得奨励にも取り組んでいます。



仕事力向上研修



振り返り研修

III. 社会から信頼されるコープしがとして

- ① 関連法令の積極的な遵守
- ② 交通事故・違反ゼロ
- ③ 地域から信頼される施設管理
- ④ 琵琶湖・地球環境を守る良くなる活動
- ⑤ 社会貢献の実践
- ⑥ 知的財産権の遵守

IV. 取引先・生産者のみなさんと健全な関係を築くために

- ① 公正な取引先の選定
- ② 対応・平等・公正な取引
- ③ 不当な要求等の禁止
- ④ 社会通念上許容される範囲の贈答や接待

V. よりよい職場、安全で働きがいのあるの実現

- ① 基本的な人権と個人の尊厳の尊重
- ② セクシャルハラスメント行為の禁止
- ③ プライバシーの保護
- ④ 健全な職場環境の整備に向けた改善
- ⑤ 風通しの良い組織風土

VI. コープしが役職員としての自覚と誇りをもって

- ① 法令や諸規定、職場のルールや約束事の遵守
- ② 生協の財産を守り有効な活用
- ③ 迅速且つ正確な経費等の申告・処理
- ④ 業務を通じた個人的利益の追求の禁止
- ⑤ 細心の注意を払い配慮した情報の取り扱い

働きがいのある職場づくり

人の能力や適性に配慮した障がい者雇用の促進

事業所の障害者雇用率や定着率など障害者雇用について評価され、平成 19 年度障害者雇用優良事業所に選定されました。2013 年度末の障害者雇用率は 2.1% で、法定雇用率 2.0% を上回っています。

誰もが安全で安心して働ける職場環境の実現

労務担当役員と各職場代表で構成する「中央労働安全衛生委員会」と各職場の「職場労働安全衛生委員会」を設け、労働災害の発生防止や 5S の推進、健康増進活動、腰痛体操や腰痛検診の実施、全事業所に設置する AED 研修、防火訓練などに取り組んでいます。

また「ハラスメントに関する基本方針」を掲げセクハラやパワハラの行為防止の啓発、「ヘルプライン相談窓口」や「メンタルヘルス相談窓口」を設けて外部専門機関などと連携しながらすすめています。



AED の講習会



消火訓練

年度	合計
2009年度	25
2010年度	33
2011年度	31
2012年度	35
2013年度	26

※スリキズなどの小さなケガも含んでいます

年度	合計
2009年度	6
2010年度	4
2011年度	4
2012年度	4
2013年度	4

※相談内容は、ほとんどが職場の人間関係や上司への不満等で、重要な不法行為等の通報はありません。

素直に感謝しあう職場風土づくり

コープしが職員の行為が、組合員や地域の方から「良かった、ありがとう」と感じていただいた事例を共有するため表彰制度を設け、個人のモラル向上や仕事のレベルアップ、組織の活性化、風土づくりを目的に取り組んでいます。

役職員相互の親睦や相互扶助、福利厚生を目的とした互助会制度

福利厚生の増進と親睦、交流などよりよい人間関係を形成するため互助会制度を設け、厚生旅行やサークル活動などへ援助し、文化・健康増進企画の補助を行っています。



サークル活動「ドリームス」



20 周年互助会記念旅行



感謝・感動の事例 感謝状贈呈



互助会活動「ボーリング大会」

働きやすい職場づくりを労働組合とともに

労働組合は正規職員・パート職員によるユニオンショップの形態をとり、コープしがでは労働者の心と体の健康や権利を守り民主的な職場運営を図るため、労働組合と協力関係を築いています。

■無店舗事業

安全・安心な商品をお届けする「無店舗事業」

無店舗事業は、県内全域に配置している10か所の無店舗事業センターから13万人の組合員宅へ毎週配達しています。

宅配

コープの安全で安心な商品は、生協に加入して利用できます。加入待っていますよ。



便利

今週のおすすめ商品が楽しみ。
みんなで集まるのが
楽しくなるわ。

共同購入や個配（個人配達）は、組合員から前週に注文を受けた商品を、毎週決まった曜日・時間、指定された場所へ配達します。

注文方法

通常はOCR注文書や、電話注文センターへ電話して注文を行います。

☎ 0120-190-502

月～金曜日 8:30～20:00 土曜日 8:30～11:00

インターネット注文

自宅のパソコン・携帯から登録して、好きな時間に注文ができる、かんたん・ベンリなシステムです。

<http://www.pak2.com/> で **検索**

●北大津センター



●彦根センター



●草津センター



●南草津センター



さあ、安全運転で出発！



無店舗の利用方法

共同購入 (グループ購入)	ご近所のお友達や、職場の仲間など3名以上で利用できます。		配達手数料 無料
ステーション 購入	地域ステーションは、指定場所に決まった曜日に商品を取りに行きます。		預かり手数料 無料
個配 (個人配達)	ご自宅まで商品をお届けします。配達手数料は、固定費と利用額に応じた手数料の合計です		
	システム 使用料	利用手数料 (利用額で変動します)	配達手数料
	66円 (固定費)	4,000円未満 /171円	237円
		8,000円未満 /152円	218円
		12,000円未満 /123円	189円
		12,000円以上 /104円	170円
	ぬくもり割引(子育て世代の方、高齢者の方、障がい者の方に優しい制度です)		
47円	123円	170円	

※価格は全て本体価格です

P29 コープしが事業所を参照。コープしがHPでもご覧ください。
<http://www.pak2.com/guide/center.html>

満1歳までの赤ちゃんをお持ちのお母さんに 嬉しいサポート商品を無料で偶数週お届け！



新サービス「赤ちゃんサポート」誕生！！ ～コープしがは子育て中のお母さんを応援します！～

「赤ちゃんサポート」とは、満1歳までの赤ちゃんをお持ちのお母さんにうれしいサポート商品を、無料で偶数週にお届けするシステムです。

従来からある「ぬくもり割引」(満3歳までのお子さんがいるご家庭は配達手数料割引)そして、コープしが新規加入

割引(個配の配達手数料6週間無料)をプラスして、パパとママの毎日をもっと楽しく便利に！

コープしがHPでもご覧ください。



■店舗事業

地域に愛され頼られる店舗展開をめざして

生鮮品・惣菜から日用雑貨まで品揃えしたスーパーマーケットタイプのコープぜぜ（大津市）では、くらしの必需品を月間でお買い得価格に設定した「くらし応援」や県内産野菜の充実に取り組んでいます。



ポイントカード

毎日のお買い物、もっと楽しくもっとトクに、「ポイントサービス」を実施しています。店舗ポイントカード（組合員証）は、お買い上げ 200 円毎に 1 ポイント進呈し、300 ポイント毎にレジでお買い物券（300 円）を発行します。

お届け便

高齢者や買い物困難な人も含めた幅広い組合員の期待に応えるためにコープぜぜ発のお届け便（買い物代行サービス・お買いあげ配達サービス）を開始しました。

注文と配達エリアは、本宮・竜が丘・鶴の里・池の里・湖城が丘・秋葉台・朝日ヶ丘・石場・松本・打出浜・馬場です。

リサイクル

ペットボトル・ペットボトルキャップ・トレー・牛乳パックを回収しています。また、マイバックの持参を呼びかけを行い、買い物袋を有料化し、持参率は 95% となっています。

○買い物代行サービス（月～金曜日）

午前中にスタッフがお電話し、ご注文を承ります。随時お届けします。（状況により配達時間が変わる場合があります。）
※利用手数料 180 円。5,000 円以上のお買い物で手数料が無料になります。

○お買いあげ配達サービス（月～金曜日）

14 時までコープぜぜ店内でお買い物された商品を、その日の夕方までにスタッフがご自宅にお届けします。
※利用手数料 100 円。5,000 円以上のお買い物で手数料が無料になります。

■共済事業

組合員に選ばれる、本当に役立つ保障を目指して…

もっと、手頃で身近な保障で、家計やくらしに貢献したい。もっとみんなの願いや想いを受けとめ、くらしに寄り添いたい。その想いを胸に、組合員の皆さんと一緒に、CO・OP 共済をつくってきました。

もしも病気やケガをされたとき、費用の心配をせず、きちんと治療に専念できるように。もしも亡くなられた場合、遺された家族の方が生活に困らず安心して暮らせるように。その思いから、組合員の皆さんに、CO・OP 共済をお知らせしていきます。

CO・OP 共済は、加入者 764 万人。組合員どうしの助け合いのチカラで、くらしの安心をお届けし、さらに多くの方にお役に立ちたい。それが CO・OP 共済の願いです。

共済保有件数(件)

年 度	たすけあい	あいづらす	ずっとあい	合計
2011年度	75,660	13,316	—	88,976
2012年度	76,168	14,695	2,004	92,867
2013年度	75,140	15,500	2,645	93,285

たすけあい共済金支払状況（千円） あいづらす支払状況（千円）

年 度	件数	支払金額	年 度	件数	支払金額
2011年度	15,166	571,578	2011年度	956	145,308
2012年度	15,315	567,519	2012年度	961	129,712
2013年度	15,273	552,042	2013年度	1,154	137,633

ずっとあい共済金支払状況（千円）

年 度	件数	支払金額
2011年度	—	—
2012年度	111	6,290
2013年度	231	13,286

資料

こんな声を、頂いています

疲れきっていた私には心温まる贈り物でした

12 月 7 歳の息子が初めて入院しました。容態が悪化したり、大変な入院生活（涙）、心も身体も疲れきっていたので共済金の手続きが簡単に助かりました。電話でも丁寧に説明いただき、書類の封筒には折り鶴が入っていました。疲れきっていた私には心温まる贈り物でした。本当にありがとうございました。

どうされたんですか？の一言からありがたさを知りました

配送担当者の方の「どうされたんですか？」の一言から、この制度の有難さを知ることができました。やけどという痛い思いはしましたが、身近に起きる事故やケガに対し、気遣いの言葉と保障の大切さをつくづく感じました。

友人の勧めで加入し、「ちゃんと共済おりよ」と教えられた

共済には友人の勧めで加入しました。たいした事のないケガもいざ通院すると 6 日もかかりました。加入はしていてもそれでも「共済の請求」には、頭がまわっていなかった私に友人が「ちゃんと共済おりよ」と教えてくれました。手続きも簡単に助かりました。

「誰かが誰かを支え、助ける」なんて素晴らしい

「誰かが誰かを支え、助ける」…なんて素晴らしいことでしょう。私も誰かを支える輪に参加できるなんて考えたこともありませんでした。幸せの鶴、ありがとうございました。私も心を込めて折らせていただきました。



コープぜぜ共済カウンター

「コープぜぜ共済カウンターでは、組合員さんの保障に関するご相談を受け付けています。コープ共済に関するご相談等、お気軽にお立ち寄りください。」

■夕食サポート事業

くらしを楽しく豊かにする「サービス事業」

夕食サポート事業は、組合員相互のくらしのたすけあい運動です。高齢、一人暮らし、共働き、育児等で忙しい方、夜間勤務その他の理由で、毎日の夕食作りに困っておられる組合員さんに、夕食の弁当やおかずをサポートが週5日お届けして支援しています。

●夕食サポートの特徴

1. 管理栄養士が監修した、5日間の栄養バランスを考えたからに優しい日替わりの献立です。
2. 旬の野菜や魚、肉を丁寧に調理し、彩り楽しく手作りの味にもこだわりました。
3. コープしがの食品添加物の自主基準に沿った原材料と衛生管理の行き届いた施設で毎日調理し冷蔵管理でお届けします。

4. 毎日（月～金）18時までに夕食サポーターが笑顔で手渡します。お留守の場合は保冷箱に入れてお届けします。
5. ご登録されますと毎日のお届けの際、安否確認も行います。

「コープしが夕食サポート」についてのお問い合わせは

 **0120-709-502**

●受付時間 月～金／8:30～20:00 土／8:30～11:00



旬彩御膳(8種類のおかずコース)

しっかりめの味付けで、メイン料理を充実させたおかずコースです。おかず1食当りの平均カロリー約500kcal、塩分約4g。



6種おかず(6種類のおかずコース)

和・洋・中の豊富な献立で、毎日違った6種類のおかずをお届けします。おかず1食当りの平均カロリー約450kcal、塩分約3g。



お弁当コース

栄養バランスやカロリーを考えた豊富なバリエーションのお弁当コースです。お弁当1食当りの平均カロリー約500～550kcal、塩分約3g。



冷凍おかずセット

土・日・祝日用です。金曜日（または木曜日）にお弁当・おかずといっしょにお届けします。おかず1食当りの平均カロリー約350kcal、塩分約3g。

■サービス事業

くらしを便利に、快適にするサービスを取り扱っています

●くらしのサービス



チケット

ご家族で楽しんでいただける遊園地、県内外の様々なコンサート、美術展のチケット、一般でも完売になる人気チケットも企画します。

自動車教習所

7箇所（滋賀6、京都1）の通学教習所と合宿教習所がお得な生協価格で入所できます。

コープ車検

県内10社の車検指定整備工場と事業提携をし2009年11月からスタートしました。マイカーを良好な状態で長く乗り続けることにより、二酸化炭素排出の軽減に寄与するとともに、車輛製造から廃棄までのサイクルを少しでも延長できることを期待して事業提携しました。

ピアノ調律・修理

アップライトでもグランドピアノでも、国内メーカーはもちろん、海外メーカーのピアノ調律・修理も対応できます。

不要品買取

本、CD、服、ブランド商品など不要になったものを宅配（送料無料で）買い取ります。

●住まいのサービス



ハウジング

新築、リフォーム、外壁・屋根塗装、太陽光発電など何でもご相談ください。それぞれの専門家が知識と経験をもとに対応させていただきます。

ふとん打ち直し・丸洗い

布団の丸洗い・打ち直しどちらもふとんの大事なお手入れです。丸洗いは生地をつけたまま洗い、打ち直しは中素材を追加してふとん側生地は新品に交換します。

ハウスクリーニング

エアコン洗浄、キッチン廻り（レンジフード、流し台）洗面台、浴室、トイレなどの洗浄、宅内排水管の洗浄、溜めマスの清掃も行っています。

レンタルモップ

5種類のモップからお選びいただけます。毎月2回の週に生協の配達便でお届け・回収しますので便利です。

浄水器

レンタル浄水器（据え置きタイプ）で、ご家族の健康と暮らしに安心でおいしい水をお届けします。

コープしがの概要と経営概況

コープしがは、1993年発足時組合員数74,900人でしたが、2013年度末には153,211人、組織率27%となり、県内全域に広がる組織へと発展しました。

今後さらに、コープしがは滋賀の生協として、事業を通じて組合員だけでなく県民のくらしに貢献し、消費者の生活の向上をめざし活動をすすめていきます。

コープしがの概要

- 名称 生活協同組合コープしが
- 理事長 西山 実
- 本部 滋賀県野洲市富波甲972番地
- 2013年度概況
 - ・組合員数 153,211人
 - ・出資金 9,953,426千円
 - ・供給高 26,989,393千円
 - ・無店舗 25,450,039千円 (個配合む)
 - ・店舗 1,341,840千円
 - ・職員数 正規職員269人 (出向者含まず)
準職員19人
嘱託12人
定時278人
アルバイト135人 (2014年3月20日現在)



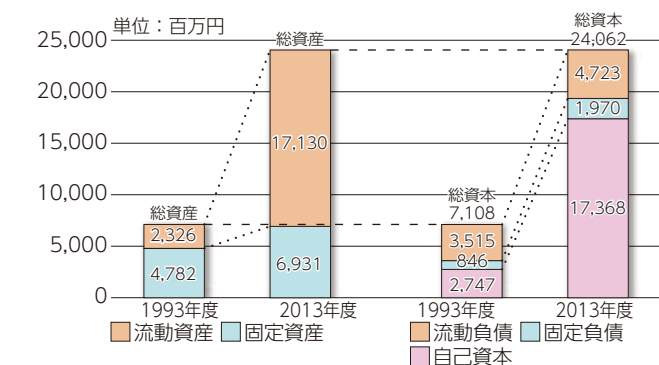
第1回通常総代会(1993年5月)

<http://www.pak2.com/about/index.html>

※コープしがの事業所と子会社はP.29をご覧ください

経営状況

1993年度(コープしが発足時)と2013年度の比較



年度	経常剰余率	総資本回転率	流動比率	固定比率	自己資本比率
1993	0.70	3.0	66.2	174.1	38.6
2013	3.05	1.1	363.6	39.9	72.1

経常剰余率 = 経常剰余金 ÷ 供給高
総資本回転率 = 売上高 ÷ 総資本
流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債
固定比率 = 固定資産 ÷ 自己資本 × 100
自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

行政区組織率

(2014年3月現在)

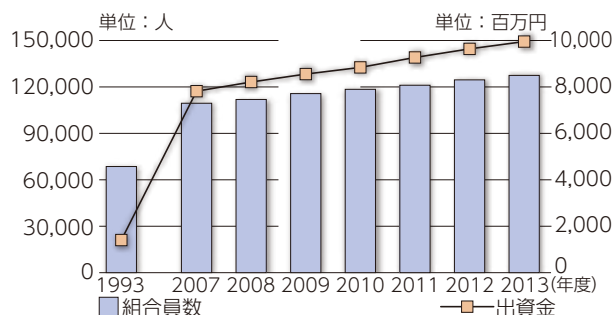
市町名	組合員数	世帯数	組織率(%)
大津市	45,090	141,441	31.9%
彦根市	12,303	46,583	26.4%
長浜市	12,955	44,565	29.1%
近江八幡市	7,476	30,848	24.2%
草津市	11,136	62,286	17.9%
守山市	7,767	28,736	27.0%
栗東市	6,030	24,423	24.7%
甲賀市	8,939	32,557	27.5%
野洲市	5,456	18,402	29.6%
湖南市	4,852	21,679	22.4%
高島市	6,850	19,677	34.8%
東近江市	11,474	40,480	28.3%
米原市	4,464	13,489	33.1%
日野町	2,269	8,242	27.5%
竜王町	1,246	4,297	29.0%
愛荘町	2,272	7,257	31.3%
豊郷町	648	3,031	21.4%
甲良町	601	2,264	26.5%
多賀町	988	2,475	39.9%
合計	152,816	552,732	27.6%

※県外在住組合員を除く

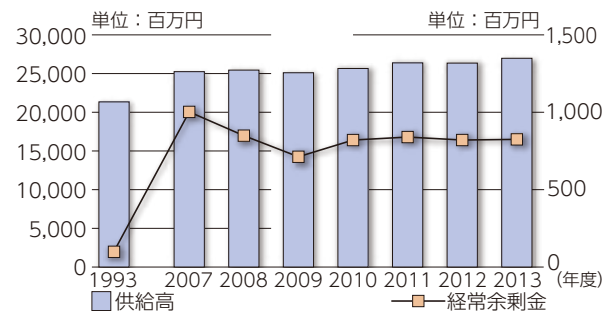
主な取扱事業種目等

事業種目	主な事業品目等
供給事業	食料品、米穀、酒、衣料品、日用雑貨、家庭用品、文房具、書籍、化粧品、各種チケット等、夕食サポート
利用事業	ささえあいサポート利用 福祉ネットワークセンター施設利用
共済事業	たすけあい共済(受託)、火災共済(受託)、生命共済(受託)
福祉事業	介護保険事業(※福祉事業施設開設、事業開始は2014年度から)

組合員数と出資金



供給高と経常剰余金



コープしがの事業所・事務所及び子会社の紹介

本部・事務所・その他施設

本部	野洲市富波甲972	TEL 077-586-1112(代表)
生協会館	大津市竜が丘1-1	TEL 077-511-2961
青果産直センター	栗東市荒張1420-1	TEL 077-559-2010
福祉ネットワーク センターゆめふうせん	大津市真野5-33-25	TEL 077-571-1560
草津事務所	草津市西草津2丁目1-1	TEL 077-565-1835
ケアサポートセンター ぽこ	大津市柳川2丁目11-25	TEL 077-523-6580

店舗

コープぜぜ	大津市竜が丘1-1	TEL 077-522-5111
-------	-----------	------------------

無店舗事業センター

南草津センター	草津市笠山5丁目3-50	TEL 077-565-0770
北大津センター	大津市真野5-33-25	TEL 077-571-1550
草津センター	草津市上寺町カスリ281-1	TEL 077-568-1671
中央大津センター	大津市国分2-226-22	TEL 077-531-0970
甲南センター	甲賀市甲南町市原303-6	TEL 0748-86-6977
近江八幡センター	近江八幡市馬淵町落合437-1	TEL 0748-37-4110
愛知川センター	愛知郡愛荘町愛知川1050	TEL 0749-42-4445
長浜センター	長浜市西上坂町1020-1	TEL 0749-63-0851
彦根センター	彦根市竹ヶ鼻町224-1	TEL 0749-30-3371
高島センター	高島市新旭町新庄799	TEL 0740-25-5888

子会社

株式会社タクス	野洲市富波甲977	TEL 077-588-5715
株式会社コープ システムサービス	栗東市荒張1420-1	TEL 077-559-2239
株式会社シガフード プロダクツ	甲賀市甲南町寺庄330	TEL 0748-86-0641
株式会社滋賀有機 ネットワーク	栗東市荒張1420-1	TEL 077-558-2211



コープしがの子会社

コープしがの子会社は、組合員の多様なくらし全般のニーズに応え、法規制等により生協で事業が制限されている分野、また農産物生産者との協同会社や牛豚・青果物の加工会社など専門的に事業化している分野を担っています。

また「コープしが子会社グループ経営指針」をもとに「グ



(株)シガフードプロダクツ

ループ会社管理規程」を策定し管理運営を行っており、各代表取締役はコープしが常勤理事が兼務し、出資額または保有株式額の範囲で経営責任を持ち、グループ全体の経営会議を開催し、グループ・コーポレートガバナンスに責任をもって運営しています。



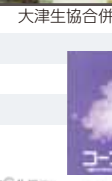
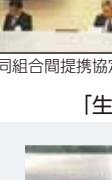
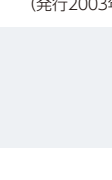
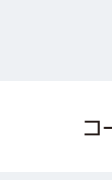
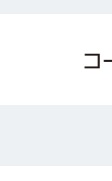
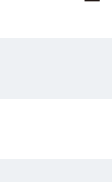
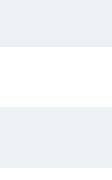
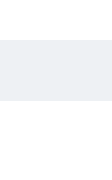
(株)タクス
設立15周年記念ゆめふうせんへ「車椅子贈呈式」

	(株)タクス	(株)コープシステムサービス	(株)シガフードプロダクツ	(株)滋賀有機ネットワーク
設 立 年 月	1995年9月	1995年11月	1993年4月	1994年12月
代 表 取 締 役	木村 昌博	小杉 元彦	白石 一夫	田井中 年人
資 本 金 総 額 (コープしが出資額)	15,000千円 10,000千円	30,000千円 20,000千円	95,000千円 48,000千円	10,000千円 4,000千円
コープしが持株比率	66.7%	66.7%	50.5%	40.0%
2013年度売 上 高	73,804 千円	488,617 千円	1,191,341 千円	697,985 千円
2013年度経常利益	2,994 千円	14,853 千円	3,844 千円	10,477 千円
事 業 内 容	損害保険・生命保険代理店、旅行業、宅地建物取引業	倉庫・保管庫の管理業、物流センター管理運営業、物流資材等の販売業	牛肉・豚肉の食肉パック加工事業、パック加工済商品販売業、畜産加工品の販売業	穀類・野菜類及び果樹類の生産・加工・販売業、農作業及び農業経営の受託事業、等
	組合員の暮らし全般をサポートするために、生協では扱えない事業分野での事業展開を図る。	物流に関する専門的なノウハウを導入し、適切な物流管理の遂行及びコープしがの物流費用をコントロールする。	精肉の生産、流通及び加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正な価格で安定供給する。	県内での産直有機農産物の産地づくりの推進と農産物の流通拠点を確立する。

※各社の売上高及び経常利益は、最終確定前の決算数値です

コープしがのあゆみと環境活動年譜

●は、行政・他団体と一緒に取り組んだ活動

 大津生協のあゆみ 10年史 (発行1983年)	湖南消費生活協同組合設立(4月) 大津生活協同組合設立(7月)	1972	
 大津生協 「商品のしおり」	山東消費生活協同組合設立 (後の滋賀県北部生活協同組合)	1973	びわこ汚染防止対策を自治体へ要請●
 大津生協合併総会	滋賀県東部生活協同組合設立	1976	空きビンのリサイクル運動●
 大津生協合併総会	滋賀県生活協同組合 連合会設立(6月)	1977	琵琶湖に初めて大規模な赤潮が発生● 廃食油(家庭用)回収運動を県内で展開●
 大津生協合併総会	生活協同組合コープしがが発足(4生協合併) (株)シガフードプロダクツ設立(食肉加工)	1979	家庭の合成洗剤を粉石けんに交換引取運動●
 大津生協合併総会	第1回コープ しが総代会 (1993年5月)	1980	滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例の制定施行●
 大津生協合併総会	たすけあい共済事業スタート (有)滋賀有機ネットワーク設立(青果)	1981	大津生協瀬田店で買い物袋持参運動スタート(レジ袋有料化5円)
 大津生協合併総会	県内農産物の発展協力に関する協同組合間提携協定締結 (株)タクス設立(保険・サービス事業)	1983	抱きしめてBIWAKO開催(25万人参加)●
 大津生協合併総会	(株)コープシステムサービス設立(物流管理)	1987	よみがえれ琵琶湖 署名運動(34万筆)●
 大津生協合併総会	青果産直センター開設 個配事業の県内全域展開をスタート	1988	滋賀県環境生活協同組合設立(現:碧いびわ湖)●
 大津生協合併総会	ホームページ「ぱくぱくファミリー」を開設 滋賀県の農産物発展協力に関する協定締結 ステーション購入スタート	1991	コープしが環境元年を発表 シルヴィコープ彦根店にソーラー発電システムを設置 買い物袋持参運動(レジ袋有料化5円)を全店舗で展開
 大津生協合併総会	インターネット注文スタート 共同購入個人別集品スタート 産直牛のトレーサビリティ開始(店舗)	1993	環境憲章を制定 コープしが独自の環境マネジメント・スタート
 大津生協合併総会	福祉情報電話開設 コープしがが発足10周年記念式典 「生活協同組合連合会コープきんき事業連合」設立・加盟	1994	ISO14001認証を取得 環境マネジメントセンター開設(現リサイクルセンター)
 大津生協合併総会	ささえあいサポート事業スタート コンプライアンス宣言	1995	大津市と環境保全協定を締結
 大津生協合併総会	福祉ネットワークセンター・ゆめふうせん開設 コープきんきとの共同企画スタート	1996	ISO14001認証を更新
 大津生協合併総会	共同購入・個配のポイント制スタート	1997	発電設備内蔵型ガスヒートポンプを導入(北大津センター)
 大津生協合併総会	個人配達手数料「めくもり割引制度」スタート 組合員コールセンタースタート コープしがが発足15周年記念事業 サービス事業スタート	1999	廃食油をバイオディーゼル燃料(BDF)に再資源化 環境事業積立金(2007年度以降毎年度実施)
 大津生協合併総会	高齢者対応個配サービススタート コープきんき「組合員の声」「商品苦情システム」スタート 滋賀県飼料米利活用推進における協定締結	2000	ISO14001認証を更新
 大津生協合併総会	全国環境保全型農業コンクールで特別賞受賞	2001	「コープしがびわ湖の日(9月第1土曜)」をスタート BDF5%燃料を2事業所28台に導入
 大津生協合併総会	夕食サポート事業「つながり」スタート	2002	環境政策の見直し・BDF100%燃料スタート 太陽光発電システム(4箇所設置)
 大津生協合併総会	物流効率化スタート ●米原市と「絆で築く安心なまちづくり協定」	2003	「コープの森」づくり協定 太陽光発電システム(2箇所設置) 環境リサイクル事業のスタート
 大津生協合併総会	「未来ファンドおうみ」基金へ寄付 ●草津市と「安心が得られるまちづくり協定」	2004	「滋賀におけるレジ袋削減の取組み」協定調印● 「マザーレイク滋賀応援」寄付
 大津生協合併総会	介護事業施設ケアサポートセンターぽこ開設 東近江センター開設	2005	2010
 大津生協合併総会	2011	2012	2013
 大津生協合併総会	2014	2014	2014



<http://www.pak2.com/>



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を用い、その製造及び廃棄におけるCO₂排出量はCOJを通じカーボンオフセットしています。この印刷物1部あたりのCO₂排出量は上記の通りです。また、大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。

